

【福島原発事故は“見ざる・聞かざる・言わざる”で、原発再稼働！】

<2016. 1. 11 記>

昨年12月に購入した本（デビッド・ロックハム、エドウィン・ライマン、スザン・Q. ストラハル、憂慮する科学者同盟(水田賢政訳)『実録FUKUSHIMA アメリカも震撼させた核災害』岩波書店 2015. 10. 28：原著は2014. 10)の「はしがき」pp. v-xに、次のような文言が並んでいました（さすが「憂慮する科学者同盟」です）。

「原子力エネルギーという選択肢は、大惨事の起こりうるギャンブルだ。」

「警告のサインは何度も繰り返し無視され、大災害寸前の事態が起きても、なかったものとされた。」

「日本の当局は、避難者の帰還前に除染の基準を厳しく強化することで、将来の放射線被曝量を抑えることもできたが、それはせずに放射線レベルが通常の10倍以上の地域を安全だと宣言した。」

「(川内原発再稼働を認めた)日本政府は、破滅的な事故が現実には生じる可能性から目を背けているだけのように見える。」

「原子力はミスが許されない技術であり、一つのミスが壊滅的な結果をもたらすのだ。」

「原子力の運用と規制を大幅に改善しない限り、第二の福島が起こるのを世界中が目の当たりにするのは時間の問題だろう。」

また、先日見つけた INPO（原子力発電運転協会）11-005 追録『福島第一原子力発電所における原子力事故から得た教訓』（2012年8月）には、「本報告書は、既に取りられた対策において、それほど考慮されていない可能性のある新しい教訓を含んでいる。したがって、運転組織は十分にこのレポートをレビューし、過酷事象に対するバリアのさらなる強化のためにその教訓を如何に使用できるかを検討することが望まれる。」として、次の記載がありました（下線筆者）。

「緊急時及び事故時対応戦略及びその実施活動は炉心冷却の維持を最優先とすべきである。」（p. 4）

「最善の事故対応戦略とそれに関連する実施手順（例えば緊急時運転手順や事故時対応ガイドラン）…から逸脱する場合は、元々の基準の考え方や意図しない結果が起きる可能性を考慮した、厳格な技術的かつ独立した安全評価の後になされるべきである。」（同 p. 5）

「教訓：炉心冷却状態が最優先事項として常に明確に把握されていること、及び炉心冷却の連続性を確実に維持する上で、冷却状態の変化がコントロールされていることを確実にする。もし原子炉冷却が不確実であれば、炉心冷却を確実にする状況を確立するために、直接かつタイムリーな行動が取られるべきである。

原子力と他の形態の発電との主要な違いの一つは、炉停止後も冷却を継続する必要があるということである。全ての状況下で炉心冷却を継続することは不可欠である。

運転員及び緊急対応の指揮者は、炉心冷却状況を完全に把握する必要がある。…福島第一では、炉心冷却系の状況と制御に関する誤解が最初の数日の意思決定や優先順位付けに悪影響を与えたかもしれない。」（同p.12）

「原子力技術の持つ特殊かつ独特な側面が、原子力安全文化の重要な要素として認識・検討されなければならない…。…他の原子力事業者も同様の事故に直面した場合に明らかになる脆弱性を有しているかもしれない。」（同 p. 35）

『鳴り砂 No.234』などで、福島第一1号機の地震後のIC操作について、東電の「温度低下率5.5℃/h以下」手順の遵守との“弁明”に疑問を呈し、運転員がそれを最優先とした背景に「原子炉の老朽化（圧力容器の中性子脆化・脆性遷移温度上昇）」があった可能性を指摘しましたが、やはり原子炉スクラム後（反応度制御後）の安全確保の最重要課題は「原子炉冷却（崩壊熱の除去）」であることは明らかで、温度低下率5.5℃/hを超える“急速冷却”が（特に老朽化した）圧力容器に脆性破壊を生じさせる可能性・危険性があるから“冷却を抑制せざるをえない”というような、あちらを立てればこちらが立たずという“二律背反”・相矛盾する対応が求められるところにこそ、「原子力技術の持つ特殊かつ独特な側面」＝脆弱性があるものと思います。

1.11に規制委が国際原子力機関（IAEA）の査察を受けているというニュースがありました。規制基準で『防災計画・避難計画』を審査対象外とするような、IAEA提示の「深層防護（第5層）」（国会事故調 pp.116-118）の“手抜き＝福島原発事故の教訓無視”がなされていることを、真っ先に指摘・問題視して欲しいものです。前掲『実録FUKUSHIMA』p.19には「自己満足的な態度に由来する愚かさが積みもり積もって、大惨事…」という川柳風の警句フレーズ（下線筆者）もありましたが、安倍総理の言う‘世界一の安全基準’なるものの実態＝自己満足的な愚かさを、公正に暴いてほしいものです（‘同じ穴の…」には無理かもしれませんが）。

<了>